

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東北)	◎	設計事務所（経営者）	・客先の都合や資材高騰でずれ込んでいた業務が完了を迎える時期となる。
	○	百貨店（経営者）	・現時点では日米の関税問題も次の段階に入り、株価も上昇しているため、多少は消費の回復を期待したい。ただし、気温の高い状況がこのまま続くと、食料品の更なる価格上昇や秋のファッション分野への影響が懸念される。
	○	スーパー（店長）	・値上げで客単価が上がり、売上が伸びているのと並行して、買上点数も伸びている。
	○	コンビニ（経営者）	・商品の値上がりは依然続いているが、買上点数は落ちていない。暑い夏の影響もあり、飲料の売上が好調を持続している。今後もこの状況は変わらないとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・商品がテレビ番組で取り上げられたことに加え、好評だったキャンペーンの第2弾も予定している。天候次第だが、売上の増加を見込んでいる。
	○	衣料品専門店（経営者）	・秋物が本番を迎える。単価が少し上がるため、売上の増加に期待している。
	○	乗用車販売店（従業員）	・今後は新規オーダーできる新車が増えるため、受注は少しずつ伸びるとみている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・納期が落ち着き売上が上がってくれば、スタッフの士気も上がり活気が出るとみている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・例年7月は台数的に余り伸びないが、今年は例年より多くなっている。この先も景気は良くなるとみている。
	○	住関連専門店（経営者）	・受注生産をしているが、2～3か月先の受注見通しが立っており、今月より良くなる。
	○	一般レストラン（経営者）	・今月が余りにも悪かったため、これより悪くなることはないとみている。しかし、来月と秋に選挙を控えているため、楽観はできない。
	○	都市型ホテル（支配人）	・国内旅行、インバウンド共に先行予約が好調である。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・秋のシーズンに向けて予約は好調に推移している。
	○	旅行代理店（従業員）	・当社契約宿泊施設のこの先3か月の先行販売額は、前年同期をやや上回っている。
	○	旅行代理店（従業員）	・先行予約状況に少し光が見えている。今年は年末年始の日並びが良いため、この先は少し良くなるとみている。
	○	通信会社（経営者）	・現在サービスエリアの拡大に向け準備を進めており、10月以降のエリア拡大後は、放送サービス、インターネットサービス共に新規加入者数の大幅な増加が見込まれる。
	○	通信会社（営業担当）	・政府の経済対策に期待している。
	○	観光名所（職員）	・団体旅行は減っているが、振り客では家族連れがかなり増えている。不景気といわれるなか、金を掛けるところには掛けているようで、子供に対する金の使い方に変化がみられる。
	○	観光名所（職員）	・夏祭り、お盆休み、紅葉と観光のオンシーズンになる。ただし、カムチャツカ半島付近の地震により出された津波警報・注意報が観光客の動向にどう影響するかは不明である。
	○	競艇場（職員）	・来場促進につながるイベントを開催する予定であり、来客数は増加するとみている。
○	美容室（経営者）	・参議院選挙も終わり、米国の関税も15%で決まったことから、選挙公約の物価対策などが具体的に実行され、市場経済に反映されることが期待できる。	
○	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	・これ以上の利上げがなく、活発な取引が維持できることを期待している。	
○	その他住宅 [リフォーム]（従業員）	・住宅設備機器は、気温の上昇に伴いエアコン設置工事の問合せが増えるとみている。リフォームは、熱中症予防のための断熱工事の問合せが増えるとみている。	
□	商店街（代表者）	・気温が極端に高いため、夜の来客数が減少している。予約状況を見ても、来客数が落ち込んだ状況は変わらないとみている。	
□	商店街（代表者）	・物価高により家計が圧迫されており、市民は不満を抱いている。大胆な政策を実施しない限り景気は小康状態が続く。	

<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・物価高に慣れてきている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・今後も異常な暑さが続けば、人々が街に出なくなり消費活動は鈍る。7月の悪い状態が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・大きな変化はないとみている。ただし、来客数が年々減少しているため、売上も悪くなっていくとみている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔酒〕（経営者）	・現状の良さが続くとは考えづらいが、猛暑が続けば飲料の販売量は当分横ばいで推移するとみている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・今月は常連客の来店タイミングが合い店頭はにぎわったものの、生活防衛を重視している状況は変わっていない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・客の買い控えは続くとみている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔スポーツ用品〕（店員）	・例年秋は新作が発売され売上が見込めるが、物価高の影響を受ける可能性がある。
<input type="checkbox"/>	百貨店（催事担当）	・商圈人口の減少や競合店との競争激化により、来客数の大幅な伸びは期待できない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（従業員）	・物価高が落ち着く要素は見当たらず、生活防衛意識も変わらないとみており、状況に変化はない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・地方ではインバウンド消費増加への期待はまだ小さいが、米国との関税交渉が一段落して株価も上がり、政治の安定と政策執行への期待もある。他方で、厳しい暑さが続くなか、渇水による農作物の不作、森林火災や豪雨災害の増加などで生活環境に大きなマイナスの影響が出ることを懸念している。また、体調の維持管理が難しくなる人も増える。生活防衛のための消費行動が一層強まることを懸念している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・この上ない暑さはまだ続くとみられ、気温上昇が消費を押し上げ続けるとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・消費が上向く兆しがない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・食品購入における節約志向は当分続くとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・可処分所得の増加が物価上昇に追い付かなければ変わらない。年金生活者が多い地域ほど景気の回復は期待できない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（商品担当）	・客単価が上昇しているため、来客数を維持できれば、売上は前年を上回る状況を維持できるとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（業務担当）	・現時点で景気が大幅に良くなる要素は見当たらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店舗運営）	・猛暑による来客数の増加などは一時的なものであり、更に良くなることはない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・気温が高すぎて来客数の伸びが悪い。これから更に気温が上がれば、ますます伸びなくなる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・数か月は現状のまま推移するとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・人口減少や販売価格の上昇は今後も続くとみており、大きな変化は期待できない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・外的環境に変化がない限り、秋以降は横ばいの見込みである。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・切り詰めた生活をしている人が多い状況が続いている。この先、この状況が当たり前になってしまうのであろうか。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・夏祭り関連商品の売上増加が期待できる。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・個人消費の停滞は今後も続くとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・客の様子からも特段の変化はないとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・猛暑対策として、クール素材の商品ニーズは高まっているが、必要な物を必要な数だけ購入する傾向は変わらない。物価高対策又は物価上昇並みの賃上げが広く浸透しない限り、変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・し好品の商材への物価高の影響は続くとみている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	・米国の関税措置等の影響が懸念される。不安感が広がり、景気の先行きが見通せない状況である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・現在の受注状況と納期が劇的に変わらない限り、良くも悪くもならない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新型車の発売に期待しているが、大きく伸びることはなく、今と変わらないとみている。

□	その他専門店 [白衣・ユニフォーム] (経営者)	・制服市場は人口減少によりこれまでとは違う動きになる。また、簡素化が進んでよりカジュアルになり、専門店の必要性が低くなる。一方、ネットでの購入は増えていくとみられ、そちらにシフトせざるを得ない。客の奪い合いが続き、体力が消耗していくことになる。
□	その他専門店 [靴] (経営者)	・物価上昇が続いており、景気が良くなる要素は見当たらない。
□	その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	・現行の補助事業の縮小や暫定税率の廃止といった販売価格の変動要素がある。それらの動きがなければ大きく変わることはない。
□	その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	・連日猛暑が続き、配達灯油の販売も例年と比べて減少している。残暑が続くことが予想されるため、回復は難しい。
□	一般レストラン (経営者)	・高級なイメージがついているのか、レストランは敬遠されている。しばらくは来客数が少ない状況が続くとみている。
□	一般レストラン (スタッフ)	・客は金を使うときには使うというメリハリのある使い方をしている。
□	観光型ホテル (スタッフ)	・売上以上に経費がかさむ状況が続くとみている。
□	観光型ホテル (スタッフ)	・物価高の状況や国際情勢を見ても、好転する要素はない。
□	観光型旅館 (経営者)	・好転する要因が見当たらないため、変わらないとみている。
□	観光型旅館 (スタッフ)	・紅葉シーズンと地域独自のプロモーションが効果を発揮し、一定の観光客、特に国内団体客が訪れることで旅館の稼働率は向上する。しかし、インフレによる家計の圧迫や魅力的なイベントの不足で、期待していたほどの集客は見込めず、現状維持かやや低迷するとみている。
□	旅行代理店 (従業員)	・秋の行楽シーズンの団体需要が伸びていない。
□	通信会社 (営業担当)	・景気が好転する材料に乏しい。
□	通信会社 (営業担当)	・地方では景気の底にいるような状況が続いている。
□	通信会社 (営業担当)	・変わる理由がない。
□	観光名所 (職員)	・予約状況はおおよそ例年どおりである。
□	遊園地 (経営者)	・物価上昇や先行きの不透明感から、来客数が少ない状況は続くともみている。
□	美容室 (経営者)	・常連客のみで新規客が増えないため変わらない。
□	住宅販売会社 (経営者)	・民間の長期大型工事が始まり、戸建て住宅や事務所の賃貸需要、仲介リフォーム工事が増えている。数件のホテル進出も見込まれている。
▲	商店街 (代表者)	・商店街で外国人向けの一括免税カウンターを運営しているが、円高や米国の関税政策、7月に大地震が起こるとい噂などの影響で、来客数、販売数がいずれも激減している。
▲	商店街 (代表者)	・7月は各方面でイベントが開催され人出も多かったが、2～3か月後は落ち着く。
▲	一般小売店 [茶] (経営者)	・干ばつによる米の不作が予想される。農業が基幹産業の当地では痛手である。
▲	一般小売店 [書籍] (営業担当)	・波及効果が期待できた文学賞がまさかの該当者なしになり、当面の間、活性化要素が見当たらない。
▲	百貨店 (企画担当)	・商圏内で大規模な商業施設のオープンが控えている。
▲	コンビニ (経営者)	・ソフトドリンクやおにぎりの売行きが良くないと売上も上がらない。過ごしやすい時期になるとソフトドリンクなどの動きが悪くなるため、2～3か月後の景気は悪くなる可能性が高い。
▲	コンビニ (経営者)	・最低賃金が上がれば完全にマイナス収支になる。売上が下がり続けるなかでどうしていけばよいのか分からない。売上を多少上げたところで経費の上昇にはとても及ばない。
▲	コンビニ (経営者)	・猛暑が続けば人の動きは鈍くなり、来客数も減るため、景気はやや悪くなるとみている。
▲	コンビニ (エリア担当)	・年間で1番人が動く7～8月と比べると、来客数は減少するとみている。
▲	コンビニ (店長)	・景気回復の要素がない。
▲	家電量販店 (従業員)	・気温が落ち着けば、寒くなるまで季節商材に大きな需要はなくなる。炊飯器やレンジなど調理家電が入替えの時期に差し掛かり、9月にはセールもあるが、全体的に需要が落ち着くためやや悪くなるとみている。

	▲	乗用車販売店（店長）	・サービス部門では客単価が前年の約9割と悪化している。物価高を嘆く客も日を追うごとに増えている。
	▲	住関連専門店（インテリアコーディネーター）	・物価上昇に加え、高温による米や野菜の不作などの懸念があり、明るい先行きが見通せない。
	▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・秋に近隣で都市型ショッピングセンターの出店が控えている。開業後、当面は食品を中心とした平日の客、週末の物販客の減少が懸念される。また、9月からレストランゾーンにおいて改装休業が生じるため、飲食業種としては前年比大幅減少の見込みである。米国の関税動向や物価高騰の状況によっては節約志向が高まることも懸念される。
	▲	高級レストラン（支配人）	・例年夏は来客数が減少傾向になるが、猛暑日や真夏日が続くなか、今年はその傾向がより顕著である。
	▲	一般レストラン（経営者）	・この先もかなり暑い日が続くことが予想されるため、客足は鈍るとみている。
	▲	タクシー運転手	・2～3か月後は涼しくなり過ごしやすくなるため、利用者は大幅に減るとみている。
	▲	テーマパーク（職員）	・夏休みが終わると集客が弱くなる。また、店舗改装の予定もある。
	▲	その他サービス〔寮管理〕（管理人）	・物価高や人手不足、人件費の増加が続くことに加え、猛暑により農産物等の収穫量の減少が予想されるため、景気はやや悪くなるとみている。
	▲	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・現在の成約件数は前年よりも高い推移となっているが、この先はやや低くなるとみている。
	×	スーパー（経営者）	・米の価格は高止まりしている。また、参議院選挙の結果を受け、政治が不安定化し、物価高対策もどうなるか分からない懸念がある。消費者の財布のひもは一層固くなるとみている。
	×	衣料品専門店（店長）	・インフレによる物価上昇で、消費マインドの低迷が続くとみている。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・令和7年産の米の収穫が終わり、価格や収穫量の数字が出てくる時期である。現状では期待できるような情報がないため、保険を掛けておく必要がある。
	×	一般レストラン（経営者）	・先行きの不透明感が増しているため、消費者が必要な物以外に金を使うことはない。景気が良くなる要因が見当たらないため、今後も悪くなるとみている。
企業 動向 関連 (東北)	◎	建設業（従業員）	・交渉が長引いていた案件の契約がようやくまとまるほか、民間の小口案件も一定数の出件が見込まれる。
	○	金属製品製造業（経営者）	・米国との関税問題が落ち着いてきたため、受注予測が若干持ち直しつつある。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関連の景気が良くなることを期待している。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・米国との相互関税が25%から15%に引き下げられたことにより、停滞していた設備投資が多少上向きになるとみている。
	○	通信業（営業担当）	・人気端末の最新機種発売などで、一時的に顧客の購買意欲が向上することが見込まれる。
	○	金融業（広報担当）	・夏の観光シーズンを迎えることや中国への農水産物輸出が解禁になったことが、県内景気に好影響を与えるとみている。ただし、異常な高温により1次産品の質と量に何らかの影響が出ることを懸念している。
	○	経営コンサルタント	・日米の関税問題に一定のめどがつき、企業の方向性の不透明感が多少は改善されると期待している。
	○	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・秋の観光シーズンに入るため、交流人口の増加による外食及び土産需要の盛り上がり期待している。
	□	農林水産業（従業者）	・しばらく高温が続くことが予想され、果物の需要は高いまま変わらないとみている。
	□	食料品製造業（営業担当）	・新商品の発売や販売促進施策の実施により売上の回復を図っているが、2～3か月で成果を出すのは難しい。
□	食料品製造業（製造担当）	・首都圏の店舗は値上げの影響もなく伸長し、飲食はインバウンド、観光客でにぎわっている。しかし、県内では平日のランチ客や購買客が取り込めていない。この先もさほど変わらないとみている。	

	<input type="checkbox"/>	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・減税等の起爆剤がないと消費は上向かない。
	<input type="checkbox"/>	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・良くなる要因が見つからない。政府の内需拡大に向けた政策は功を奏しておらず、このままでは地方の企業はもたない。経済対策にもっと時間や金を使い、循環させる政策を打ち出して早く実行してほしい。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（総務担当）	・米国との関税問題にはようやくめどがつきそうだが、まだ流動的であるため、実際の動きにつながるのはいま少し先になるとみている。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（総務担当）	・9月までの見込みで今月と同等の受注量を確保している。
	<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（経営者）	・直近では客先に動きが見られない。各社、小さい動きが出てくる見込みはあるものの、いまだ十分な受注量を確保できる見込みはない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・限られた人手でやり繰りしている。人手確保が課題である。
	<input type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・人手不足と価格高騰が続いているため、今後も変わらない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・会社として対応できないため、これ以上良くなることはない。
	<input type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・厳しい値下げ要請に対しては、顧客に寄り添いながら粘り強く対応していく。
	<input type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・現状維持とみている。
	<input type="checkbox"/>	広告業協会（役員）	・物価の上昇が賃上げを上回っている状況では、消費意欲が高まることはないため、販売促進費を拡大する企業は少ない。広告業界の業績が伸長する気配は全くない。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店（経営者）	・経済環境の不安定感から、従来のようなマーケティングコミュニケーション領域のニーズは先行きが見通せない状況である。
	<input type="checkbox"/>	司法書士	・相続や売買による登記手続の依頼は落ち着いているが、投資物件のアパート建築が順調である。
	<input type="checkbox"/>	公認会計士	・小売業、サービス業関係は現在の好調を維持する顧客が多いとみている。製造業、建設業については、人手不足、資材高騰の影響が続き、業績が改善する兆候もみられない。全体としてはやや悪い状況が続くとみている。
	<input type="checkbox"/>	その他企業 [企画業]（経営者）	・当地域の経済は農業の動向に左右される。猛暑により野菜栽培に影響が出始めていることや新米の流通が米価格にどう影響するかなど懸念材料がある。
	<input type="checkbox"/>	その他企業 [協同組合]（職員）	・精密部品加工のパーツ加工では動きが活発なところもみられるが、全体的な動きは依然として鈍い。
	<input checked="" type="checkbox"/>	農林水産業（従業者）	・日照りが続き、米の生育に悪影響が出ることが予想され、収穫量が減る見込みである。
	<input checked="" type="checkbox"/>	輸送業（経営者）	・中国が日本産水産物の輸入一部再開を発表したが条件付であり、当社で取り扱う輸出食品は元に戻るような状況にない。また、日米関税の合意が物流業界に及ぼす今後の影響を懸念している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	コピーサービス業（従業員）	・景気対策等が安定せず、見通しが不透明で不安な状況である。
	<input type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業（職員）	・公共事業、民間事業の受注量が減少しており、厳しい状況は続く。
雇用 関連 (東北)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（経営者）	・日米の関税交渉や選挙が一段落し、現状、ネガティブな要素が見当たらないため、今後の景気は上向くとみている。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・日米の関税交渉に一定のめどが立ち、様子見ムードから動きが出るとみている。特に自動車と半導体を中心とした製造業に期待している。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・企業側の変化に時間が掛かることを考慮すると、マッチングの難易度が高い状況はしばらく続くとみている。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・求人数が前年比80~90%の状況が6か月以上続いている。回復に結び付く要素はなく、横ばいが続くとみている。
	<input type="checkbox"/>	アウトソーシング企業（経営者）	・しばらくは現状と変わらないとみている。
	<input type="checkbox"/>	新聞社 [求人広告]（担当者）	・売上は堅調だが、物価高の影響もあり景気回復の実感はない。この状況は続くとみている。

<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・求人数は増加傾向にあるものの、米国の関税政策や物価高などの影響から、先行きの不透明感が拭えない。
<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・新規求人数、有効求人数共に前年より増加しているが、先行きについては米国の関税政策の影響を考慮する必要がある。
<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・事業所からは、米国との関税問題や国際情勢で先行きが不透明、天候不順で先が読めないといった話も聞くが、6月に受理を開始した高卒求人数は前年を少し上回っている状況である。この先も求人、求職の動きに大きな変化はないとみている。
<input type="checkbox"/>	学校〔専門学校〕	・求人件数やその内容から、大きな動きはないとみている。
▲	*	*
×	*	*